

《 フィリピンコース 参加者一覧 》

都道府県	氏名	所属学校名	担当科目
群馬県	大崎 章	前橋市立粕川小学校	全教科
群馬県	長竹 智宏	吉井町立入野小学校	全教科
群馬県	小山 靖弘	明和町立明和中学校	保健体育
群馬県	中川 裕子	太田市立北中学校	美術、家庭科
群馬県	長山 満	太田市立生品中学校	理科
栃木県	岡 保宏	栃木県立宇都宮北高等学校	英語

同行者	真庭 佳子	JICA東京(群馬県国際協力推進員)
同行者	市川 恵	(特活)アジア日本相互交流センターICAN

平成17年度 教師海外研修 フィリピンコース 研修日程

月日	時間	行 程	宿泊地
8/2 (火)	9:40	成田空港 → マニラ 空港	サマセツ Condominium
	17:00	JICA事務所訪問	
8/3 (水)	8:00	学校訪問「セント・スカラスティカス学校」 ・授業参観、交流、模擬授業、体育・理科実験施設見学等 昼食(学校内)	サマセツ Condominium
	9:30	青年海外協力隊チーム派遣 「フィリピン酪農開発強化プロジェクト」訪問(ロスバニョス地区) ・プロジェクト現場の訪問、意見交換 12:00 昼食(ロスバニョス近郊) 14:30 富士通コンピュータ工場訪問(カランバ地区) ・日系企業現地工場の視察	サマセツ Condominium
8/5 (金)	10:00	「パヤタス地区医療および収入向上支援事業」 ・ゴミ集積所周辺集落の視察、プロジェクト視察、関係者との意見交換	ホームステイ
	12:00	昼食(ホテル近郊)	
	14:00	「TESDA女性センター強化プロジェクト」訪問 ・プロジェクト視察・関係者との意見交換	
	17:00	ホストファミリーとの対面	
		ホームステイ	
8/6 (土)		ホームステイ	ホームステイ
8/7 (日)		ホームステイ	サマセツ Condominium
8/8 (月)	9:00	「高生産性稲作技術の地域展開計画プロジェクト」訪問 (フィリピン稲作研究所(フィルライス)、ヌエバ・エシハ地区) ・プロジェクト現場の訪問、意見交換	フィルライス・ドミトリー
	12:00	昼食(ヌエバ・エシハ地区)	
	14:00	近郊視察	
	18:00	フィルライス・ドミトリー着	
8/9 (火)	14:30	アヤラ博物館	サマセツ Condominium
	16:00	海産物市場等視察	
8/10 (水)	午前	報告資料作成	サマセツ Condominium
	12:00	昼食(適宜)	
	13:00	青年海外協力隊活動現場訪問 (佐々木隊員(日本語教師)、マニラサイエンス高校) 隊員活動視察、現地教員との意見交換、日本語以外の授業視察等	
	18:00	終了レセプション(於:ホテル)	
8/11 (木)	14:20	マニラ空港 → 成田空港	

平成17年度 教師海外研修（派遣国：フィリピン）実践報告書

群馬県前橋市立粕川小学校

大崎 章

タイトル：他国から文化を学ぶ

実践教科：総合・道徳（時間数：4時間）

対象生徒・学年：4年生

対象人数：33人

カリキュラム案

（1）実践の目的

粕川小学校では総合学習の時間で、国際理解に力を入れて進めてきている。児童にコミュニケーション能力を付けるために、月曜の放課後・水曜の朝行事・金曜の5校時に15分間ずつ英語活動を行っている。また、隔週の水曜日に地域のボランティアの人に協力してもらい、1時間の英語活動も行っている。4年生でも総合の学習でフィリピンの料理、カルデレータを作って食べたり、道徳の学習で「カンボジアから来た転校生」「ガイジンとよばないで」「子どもの権利条約（世界の子供）」「おならびなさい」など外国人の話題を取り入れたりして、国際理解に関心が持てるように進めてきている。

海外研修で自分がフィリピンに行ってみて、異文化にふれてみた驚きもあるが、語学や国際理解、コミュニケーション能力の大切さをより強く感じた。これからいろいろな国の人と交流するだろう4年生に言葉だけでなく、自分の気持ちを伝えられたり、相手の気持ちが理解できるようになれたりできると良いと考えた。また、その活動の中で自分の住んでいる日本の文化に気づき、他国の文化を尊重できる心が育つと考え実践を計画してみた。

（2）授業の構成案

時限・ねらい	方法・内容	教材・資料
1時限（道徳） 仲間をさがせ！ 「おねがい、協力して！」 ・言葉が伝わらない場合どのよう	①クラス全員の児童の目を閉じさせシールをひたいにはる。（5種類ぐらい） ②教師の合図で目を開き同じシールでグループを作ります。 ③しゃべらないで・教えないがルールです。 ④グループごとになれたら、仲間をさがすまでの	・道徳の本 ・仲間シール （5種類）

に教えるか考える。 ・仲間が見つからないとき気持ちを考える。	気持ちを発表する。 ⑤感想をプリントに書く。 言葉が伝わらなくてもコミュニケーションが出来ることを実感できるようにする。	記録プリント
2時限（総合） ・世界にはいろいろな人たちが暮らしていることを知る。	①『世界がもし100人の村だったら』の本を紹介する。 ②何人になるか予想させながらすすめる。 ③結果からどんな感想か発表する。 世界にはたくさんの人々が住んでいて、日本だけでないことが理解できるように進める。	・本『世界がもし100人の村だったら』 ・プリント
3時限（総合） ・日本の道具とフィリピンの道具で使い方の違うところや違うところ気づく。	フィリピンのおみやげとふろしきを紹介する。 ①おみやげの使い方を紹介する。 ②日本のふろしきとフィリピンの〇〇を見せる。 ③使い方を一人一人考える。 ④グループで使い方を考え発表の分担を話し合う。 ⑤グループごとに発表する。 発表に無かった使い方を紹介する。	・おみやげ ・ふろしき ・カメラ ・アジアの地図 ・プリント
4時限（総合） ・フィリピンの近代的な部分と遅れている部分の写真からいろいろな環境で生活している人々に気づく。	①フィリピンの写真を紹介する。 ②都市の様子とパヤタスの様子の写真をくらべて見る。 ③感想をプリントに書く。 ④感じたことを発表する。 国によっていろいろな環境、いろいろな状況の人々（子ども）がいることに気づく。	・フィリピンの写真 ・プリント

<児童の反応>

1時限・・・仲間をさがせ（アイスブレイキング）

◎児童の感想

☆ゲームを始めたとき、どう感じましたか。

- ・誰と仲間になるのか、自分の仲間が見つかるか心配だった。（18人）
- ・自分のマークが分からないのでどうやればよいか分からなかった。混乱した。（5人）
- ・心臓がドキドキした。緊張した。（5人）
- ・仲間が見つかるように願った。（4人）
- ・早く見つかるかな。と思った。（1人）

☆自分の仲間が見つからないときは、どんな気持ちでしたか。

- ・もしかしたら仲間がいなくて1人かなと思った。（7人）

- ・仲間が見つからないので1人で寂しい（悲しい）気持ちだった。。（6人）
- ・早く見つからないかな。不安に思った。（6人）
- ・見つかった人はいいなと思った。（2人）
- ・話せないと仲間を見つけるのがむずかしいな、どうしようと思った。（1人）
- ・自分のしるしが分かるといいなと思った。（1人）
- ・どうして見つからないのだろうと思った。（1人）
- ・仲間は誰かなと思った。（1人）
- ・友だちに教えてもらおうと思った。（1人）

☆仲間が見つかったとき、どんな気持ちでしたか。

- ・やっと見つかってうれしかった。（16人）
- ・やった、仲間がいた。と思った。（3人）
- ・安心した。ほっとした。（3人）
- ・いろんな人が手で教えてくれて、仲間が見つかって良かった。（1人）
- ・自分のシールが分かって良かった。（1人）
- ・仲間が見つかるワクワクしなくなった。（1人）
- ・次の仲間を探そうと思った。（1人）
- ・指で教えてもらえて良かった。（1人）

☆あなたは友だちを助けることができましたか。どうやって助けましたか。

- ・指でマークを指したり、指で○×をしたり教えてあげられた。（24人）
- ・助けてあげられなかった。（2人）
- ・時間がなくて助けられなくて残念でした。（1人）
- ・友だちにつれていかれた。（1人）
- ・助け方が分からなかった。（1人）

☆このゲームをして思ったこと、感じたこと、分かったこと。

- ・とても楽しかった。またやりたい。（9人）
- ・言葉が使えないと教えるのが難しいことが分かった。（5人）
- ・友だちと教え合うことが大切だと思った。（3人）
- ・大変だが、助け合いが必要な事が分かった。（3人）
- ・仲間がいるとうれしいことが分かった。（いないと寂しい）（2人）
- ・しゃべらないで仲間をさがすのはむずかしいことがよく分かった。（1人）
- ・友だちに教えてもらわないとダメだということが分かった。（1人）
- ・協力することが大切なことが分かった。（1人）
- ・友だちがいないのはこんな感じなのかな。と思った。（1人）

2時限・・・『世界がもし100人の村だったら』

本とプリントを使って、100人中何人になるか予想させながら紹介した。

予想と当たっていたり、大きく外れたり想定外の内容もあり盛り上がった。最後に日本は島国で外国と接していないので、外国に対して関心が薄いかも知れない。これか

ら日本も外国のことを理解しなくてはならない時代になることをまとめとした。

3 時限・・・日本の道具・フィリピンの道具

☆名前は カーシー スカナ タチョー ベニア 百敷きモウフ シート
ジュウータン

☆使い方

フィリピンのマロン

- ・着る物 着物 寝袋 洋服 ねまき スカート スカーフ ぼうし バンダナ
エプロンなど
- ・カーテン シーツ テーブルクロス ジュウータン ふとんなど
- ・物を運ぶ物 バック 赤ちゃん用
- ・物を包む お弁当 赤ちゃん
- ・肩にかける ・ゆりかご ・地面に敷く

日本ふろしき

- ・物を包む お弁当 おせち
- ・かぶる ずきん マフラー バンダナ テーブルクロス

4 時限・・・フィリピンの写真の様子から

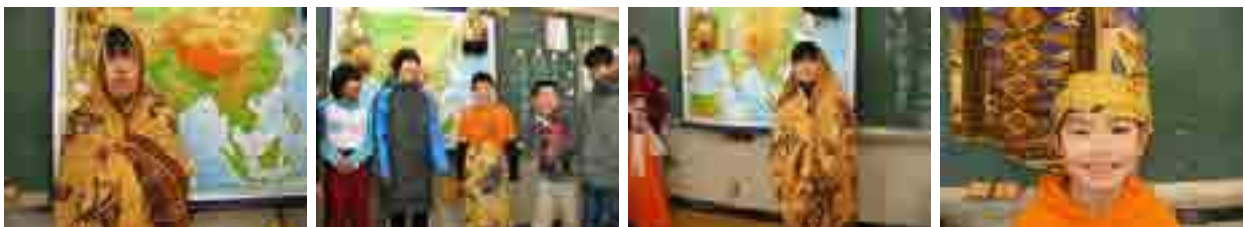
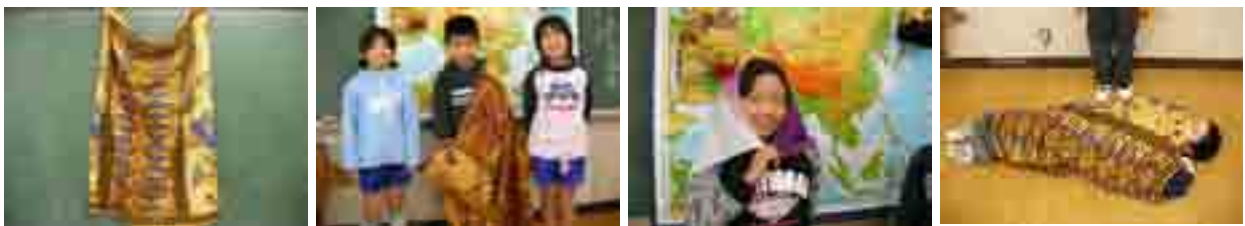
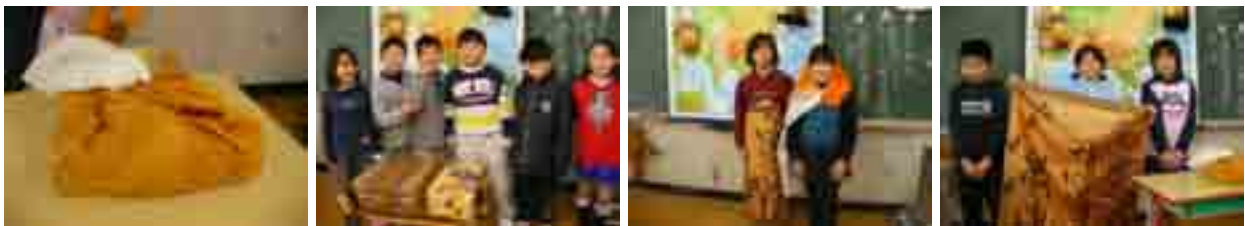
- ・今後時間を見て実践予定

終わりに

1年間意識して国際理解、コミュニケーション能力が付けられるように努力してきた。4年生という年代は何にでも興味関心を持ち、素直に学習も進められるので、実践の目的が達成できたように思う。今後、子供達が自分の体で体験したり実践したり出来ると期待したいと思う。

資料1・『世界がもし100人の村だったら』著者 池田香代子(編)、マガジンハウス(編)

資料2. 写真 フィリピンのおみやげ 日本のふろしき 使い方の発表 アジアの地図



資料3 フィリピンの写真

